

## 逆流性食道炎診療の後方視的検討

### 1. 研究の対象

2009年1月～2025年3月に当院で逆流性食道炎に関する診断、治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

逆流性食道炎は胃酸の逆流によって食道に粘膜障害を来す良性疾患です。逆流性食道炎は上部消化管内視鏡によって診断され軽症と重症に分類されます。治療には酸分泌抑制薬が用いられます。

逆流性食道炎に対する酸分泌抑制薬に関する臨床研究では一般にがん等の重篤な基礎疾患を持った方は除外されていますが、川崎病院のような急性期市中病院では悪性疾患等によって全身状態が悪化した方において重症逆流性食道炎を合併する例が少なくなく、診療ガイドラインで推奨される薬物療法のみでは症状改善が得られない場合も多く見受けられます。一方で無症状の方の中にも重症逆流性食道炎が隠れている場合もあり、そのような方々の自然歴はまだ十分解明されていません。

逆流性食道炎診療の現状を評価するとともに、逆流性食道炎の方の長期的な自然歴を検討することを目的に本研究を立案しました。研究期間は2030年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる情報の種類

上部消化管内視鏡診断結果、逆流性食道炎の重症度、逆流性食道炎の治療結果、患者さんの年齢、性別、BMI、基礎疾患、生活歴、併存する上部消化管病変など

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

川崎市立川崎病院内科 井上健太郎

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

-----以上